

計算社会科学会 2023 年理事会議事録
2023 年 2 月 21 日 津田塾大学 SA120

参加者：

現地：遠藤，上東，鳥海，岡田，西川，瀧川，笹原，水野，小森，吉田

オンライン：小林，榊（以上敬称略）

議題：

1. 役員体制について

互選により以下の体制が了承された。

会長 遠藤

副会長 上東・鳥海

事務局長 吉田

副事務局長 榊

会計・会員 岡田

渉外 上東

論文 笹原

2. 会計関係（岡田）

2023 大会の清算終了後に会計報告を行う旨があり了承された。

次回以降は大会参加費を発表者・現地・オンライン参加者から徴収(1,000 円程度)することとなった。Peatix などを利用することが提案された。

大会にスポンサー(一口 10 万円程度)をつけ、優秀賞のネーミングライツを与えるなどの案について検討された。

3. 後援について(鳥海)

AESCS(<http://www.paaa.asia/aescs/>)からの後援依頼について了承した。他にも後援などの依頼があった場合は随時メールなどで審議することとした。

4. ワークショップ企画について（笹原）

スマートニュース・メディア価値観の全国調査に関するワークショップとして 2024 年度大会時にセッションを作ることとなった。

5. 入退会について(吉田・岡田)

組織として機能するために入退会管理を行うことが了承された。

会員情報は氏名、所属、職位・身分、メールアドレスとする。

入会・会員情報の変更・退会は WEB から受付、自動応答・承認として事務局が作成する。
会員名簿管理は担当役員（岡田）が行い、理事会内部のみ閲覧を認める。

会費は当面取らない。

1年以上連絡が届かない会員は理事会で退会を決定できるものとする。

6. 機関紙について(吉田・笹原)

学会大会の発表論文をベースにして、年に一度、PDF形式の機関誌を発行することにする。
雑誌名称は『計算社会科学』。第1号は2022年大会。第2号は2023年大会とし、会員のみ公開とする。

7. 学術会議への登録(岡田)

会員名簿・機関誌発行(2号分)が終了した時点で、手続きを開始する。なお、参加費を取らない学会という特殊性については事前に学術会議と調整する。部門は人文社会系をめざす。

8. 新規の理事・PC・顧問について

以下の人事について了承した。

理事 守田智（静岡大学）、佐野幸恵（筑波大学）

PC 松井暉（横浜国立大学）

顧問 佐藤嘉倫（東北大）※PCから変更

9. 会則変更について

会則の変更について了承した。

以上